

2025年

11

12月1日発行

飯綱町立飯綱中学校 生徒指導通信

ぼんじてってい 凡事徹底



11月に入り、年度の後半へ向けて学校生活をもう一度整える時期になりました。

そんな中で、今年度4回目の「つぶやきタイム」を実施しました。

4月から大切にしてきた合言葉

ぼんじてってい

凡事徹底

時をまもり

場をととのえ

礼をただす

を、改めてみんなで振り返りました。

時をまもり

今週から生活委員会の取り組み「ノーチャイム週間」が始まりました。

チャイムが鳴らない生活は新鮮ですが、その分時計を見る習慣・自分で行動する力が鍛えられます。

「言われて動く」ではなく、「自分で判断して動く」——これは中学生として大切な成長です。

場をととのえ

「場（環境）をととのえると、心もととのう」という話をしました。

ALSO K

割れ窓理論とは？

まちを清掃すると犯罪率が下がる理由



世界には、荒れた街を掃除するだけで治安が改善した例があります。（“割れ窓理論”より）

教室や机の中、ロッカーを整えることは、中学生にとっての“心の安定をつくる一歩”です。環境がととのうと、自然と気持ちも落ち着きます。

礼をただす

飯中生は、日頃からあいさつがとてもよくできます。町で横断歩道を渡った後、車にそっと会釈する姿もよく見かけます。

挨拶は、声を出すこと以上に相手を思う心そのものです。

今できている良さを、より大切にしていきましょう。

あなたが「これからできること」

今回のつぶやきタイムアンケートにも、「これから自分が意識していきたいこと」について、たくさんの前向きな声が寄せられました。

飯中をもっと居心地のよい学校にするために、みんなが自分ごととして考えてくれたことが伝わってきました。

一部ではありますが、みなさんが書いてくれた言葉を紹介します。

- 言葉にする前に相手の気持ちを考える
- 感情を落ち着かせて行動する
- 悲しい思いをしている人に寄り添う
- 勇気をもって声をかける
- 周りをよく見て行動する
- 周りの変化に気づく
- 相談する／相談に乗る
- 整理整頓・生活を整える
- 自分がされて嫌なことはしない
- 誰にでも平等に接する

これは“正解”ではなく、
飯中生自身が考えた、
よりよい学校づくりのヒントです。





全校から寄せられた想い

アンケートには、匿名でありながら「共有しても良い」と答えてくれた生徒の声があります。これらは特別な誰かの問題ではなく、学校のどこかで、実際にいま起きていることです。

- 名前をもじったあだ名・容姿いじり
“ふざけただけ”の言葉で済まないことがある。言われた側は、心が傷つくことがある。
- 急な態度の変化・強い言い方
話しかけた瞬間の不機嫌さ、意見を頭ごなしに否定される。
- 見下されているように感じる扱い
相談や提案が軽く扱われる、仲間外れ感を感じる。
- 陰口・噂・聞こえてしまう悪口
自分の名前と悪口が聞こえる、他人づたいに嫌な言葉を言われる。
- 謝っても許されない・乱暴な返し
勇気を出して謝ったのに、強く手を払われたり叩かれたりする。

今回寄せられた声は、決して“特定の人だけの問題”ではありません。誰もがどこかで経験するかもしれない。もしかしたら、似たような思いを持っているかもしれない。だからこそ、全校で共有し、**全員で向き合う**必要があります。

おわりに

2025年も残り1か月となりました。この一年を気持ちよく締めくくるためにも、

時をまもり 場をととのえ 礼をただす

そして、**言葉の前で一度立ち止まる**

この4つを心において、**誰もが幸せを感じることができる「チーム飯綱」**をつくっていきましょう。一人ひとりの“ちいさな行動”が、学校の空気を変える大きな力になります。12月も、よい一日を積み重ねていきましょう。

Topics

「言葉は刃物」— コナンが教えてくれる大事なこと



映画 **沈黙の15分** には、こんなセリフが登場します。

「一度口に出しちゃった言葉はもう元には戻せねーんだぞ。」

言葉は刃物なんだ。使い方を間違えると厄介な凶器になる。

言葉のすれ違いで、一生の友達を失うこともあるんだ。」

これは、
光彦と元太がささいな言い合いをしてしまった場面で、
コナンが二人に向けて落ち着いた声で伝えた言葉です。



言葉は目に見えない。
だからこそ、優しくも、鋭くもなる。
使い方ひとつで、友達を守ること
も、傷つけることもできる。
どう使うかは、いつだって自分次第
です。